

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公表番号】特表2014-521070(P2014-521070A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-519031(P2014-519031)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 16/46

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月24日(2015.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療有効量のVEGFR阻害剤およびAng2阻害剤からの臨床的有益性を得る可能性が高いヒト腎細胞癌(RCC)患者を識別する方法であって、前記方法は、

RCC患者の試料中の胎盤増殖因子(PLGF)の濃度を測定し；そして、

当該患者試料中の前記PLGF濃度がPLGF濃度パラメーターより低いかを決定する

、  
ここにおいて、前記PLGF濃度パラメータより低いPLGF濃度を有する患者は、治療有効量のVEGFR阻害剤およびAng2阻害剤からの臨床的有益性を得る可能性が高い、

ことを含む、前記方法。

【請求項2】

前記Ang2阻害剤は、AMG386であり、前記VEGFR阻害剤は、ソラフェニブまたはフルオロソラフェニブである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記Ang2阻害剤は、H4L4であり、前記VEGFR阻害剤は、ソラフェニブまたはフルオロソラフェニブである、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記Ang2阻害剤は、CVX-060、MED13617、DX-2240、REGN910、AZD-5180、CGI-1842、LC06、CGEN-25017、RG7594、CVX-241、またはTAvi6のうちの少なくとも1つである、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記PLGF濃度パラメータは、22pg/mL以上～40pg/mL以下の血清PLG

F濃度である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記PLGF濃度パラメータは、28pg/mLの血清PLGF濃度である、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記PLGF濃度パラメータは、平均血清PLGF濃度の1標準偏差内である、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記血清PLGF濃度パラメータは、平均血清PLGF濃度である、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記患者PLGF濃度は、血漿PLGF濃度または血清PLGF濃度である、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記VEGFR阻害剤は、ソラフェニブまたはフルオロ-ソラフェニブである、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記VEGFR阻害剤は、ソラフェニブである、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記VEGFR阻害剤および前記Ang2阻害剤は、同時に投与される、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

臨床的有益性は、無進行生存である、請求項1に記載の方法。

【請求項14】

臨床的有益性は、全生存である、請求項1に記載の方法。

【請求項15】

前記Ang2阻害剤はまた、Ang1阻害剤もある、請求項1に記載の方法。

【請求項16】

前記Ang2阻害剤は、結合ポリペプチドである、請求項1に記載の方法。

【請求項17】

前記結合ポリペプチドは、抗Ang2抗体である、請求項16に記載の方法。

【請求項18】

前記Ang2阻害剤は、抗Tie2抗体である、請求項16に記載の方法。

【請求項19】

前記結合ポリペプチドは、二重特異性結合ポリペプチドである、請求項16に記載の方法。

【請求項20】

前記二重特異性結合ポリペプチドは、抗VEGFRおよび抗Ang2二重特異性結合ポリペプチドである、請求項16に記載の方法。

【請求項21】

前記二重特異性結合ポリペプチドは、抗DLL4および抗Ang2二重特異性結合ポリペプチドである、請求項16に記載の方法。

【請求項22】

前記結合ポリペプチドは、可溶性Tie2-Fc融合ポリペプチドである、請求項16に記載の方法。

【請求項23】

臨床的有益性の可能性が高い前記ヒトRCC患者は、前記治療有効量の前記VEGFR阻害剤および前記Ang2阻害剤が投与される、請求項1に記載の方法。

【請求項24】

前記VEGFR阻害剤は、ソラフェニブまたはフルオロ-ソラフェニブである、請求項

2 3 に記載の方法。